

# 週刊 タバコの正体

日本たばこ協会によると2020年度の紙巻タバコの販売本数は988億本だったそうです。これだけのタバコが日本中で吸われたわけですが、それは同時に988億本の吸い殻が発生したという事です。そんな膨大な吸い殻は、どのように処理されているのでしょうか。



多くの吸い殻はどこかの灰皿に捨てられているでしょうが、写真のように路上や排水溝にポイ捨てされている景色もよく見かけます。心ない人が捨てた最初の一本が次々に「この一本の吸い殻ぐらい・・・」と気に留めない行動につながってしまうのでしょうか。



しかし、988億本のうち1割でもポイ捨てされると10億本近い吸い殻が雨風にさらわれて、小さな溝から河川へ、そして海へ流されることとなります。タバコの葉の有害成分に加え、プラスチックのフィルターが地球環境を汚してしまうのは確実です。

タバコは人間の健康を損なうだけではなく、地球環境も損なうのです。つまり、タバコは人にも地球にもやさしくない事を知っておいて下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久

